

令和6年 北秋田市教育委員会
4月定例会 会議録

1. 招集年月日 令和6年4月25日(木)
2. 招集場所 北秋田市役所第二庁舎 第三会議室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時24分 閉会：午後3時10分
4. 出席委員 教育長：佐藤 昭洋 委員：佐藤 正俊
委員：佐藤 英樹 委員：蒔苗 隆
委員：藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 教育次長：金澤 誠 教育総務係長：武田 瑞穂
教育総務課長：佐藤 義隆 学校給食係長：笹代 孝徳
学校教育課長：茂内 公貴 学校教育係長：藤田 学
生涯学習課長：山本 明美 生涯学習係長：中島 礼美
文化財係長：渡辺 靖光
教育総務係(書記)：藤本 来夢
7. 傍聴者 なし
8. 報告事項 (1) 教育長報告
① 教育長動静
(2) 各課長所管報告
・教育総務課
① 4月行事報告及び5月行事予定
② あきたリフレッシュ学園
・学校教育課
① 4月行事報告及び5月行事予定
② 学校の状況
・生涯学習課
① 4月行事報告及び5月行事予定

9. 案 件

- (1) 承認第2号 市議会提出議案に関する意見聴取について（専決第4号 専決処分の承認を求めることについて（令和5年度北秋田市一般会計補正予算（第13号））のうち関係部分について）
- (2) 議案第21号 第3期北秋田市子ども読書活動推進計画の策定について
- (3) 報告第3号 専決処理の報告について（専決第5号 学校医等の委嘱について）
- (4) 報告第4号 専決処理の報告について（専決第6号 学校事務共同実施グループリーダー等の任命について）

10. そ の 他

- (1) 令和6年度北秋田市教育委員会機構図について
- (2) 次回の定例教育委員会の開催日について
- (3) その他

11. 会 議 録

佐藤教育長	ただいまから、教育委員会4月定例会を開会いたします。 4月の人事異動で説明員が変わりましたので、教育次長から紹介いたします。
金澤教育次長	<説明員（出席職員）を紹介>
佐藤教育長	これまでもお話してきましたが、若干名称も変わっております。総務課が教育総務課、それから義務教育係は学校教育係、そして、給食のほうも、これまで給食センターの所長という形で笹代さんにやってもらっていましたが、学校給食係長という形で、学校給食センターの所長は課長が兼ねることになりました。それから、文化係が文化財係に変わって、世界遺産係と、今までの文化係の文化の部分が無くなりましたので、少し人数も減りスリムになりました。よろしくお願 いします。 それでは署名委員の指名をさせていただきます。本日の署名委員は、蒔苗委員 にお願いします。
蒔苗委員	承知しました。
佐藤教育長	次に、次第2番「前回委員会の会議録の承認」です。事前に事務局から配付さ れている「3月定例会」の会議録の内容について、訂正等がある方はいらっしゃ いますか。
佐藤英樹委員	会議録の5ページ、発言者の名称が、小坂教育次長のところから1行ずつ、7 ページまでずれているので訂正したほうがいいのかと思いました。もう1点は、11 ページの私の発言部分ですけど、11 ページの4行目から訂正をお願いします。

佐藤英樹委員	3行目の後半から読みますが、「何のために組織をつくって、のか」とありますが、「いる」が抜けていると思います。それと、その下の行ですけれども、「現在、地域にそのような活動をしている組織に、小中学生を受け入れるよう教育委員会で働きかけて、行ってもらったほうが」を「働きかけを行ってもらったほうが」に訂正をお願いします。以上です。
佐藤教育長	ただいまの佐藤英樹委員からの修正については、事務局の方で訂正をお願いします。 ほかによろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	ないようであれば訂正して、承認ということでよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	それでは次第3番「教育長職務代理者の指名について」です。指名の前に教育長職務代理者制度について教育次長から説明をお願いします。
金澤教育次長	<教育長職務代理者制度について説明>
佐藤教育長	3月の定例教育委員会でも報告させていただいておりますけれども、佐藤正俊委員については、令和6年5月13日をもって教育委員の任期は満了しますが、3月の市議会で同意を得て再任をしていただくことになりました。佐藤正俊委員からは引き続き御意見をいただきたいと思いますが、新たに職務代理者として、5月14日より佐藤英樹委員を指名することといたしましたので報告いたします。佐藤英樹委員、よろしくお願いします。
佐藤英樹委員	よろしくお願いします。
佐藤教育長	続いて、次第4番「諸報告」です。(1)私、教育長から動静について報告いたします。 1ページを御覧ください。3月の27日、阿仁学園の引っ越し作業が26・27日の2日間行われました。26日は、上杉組をはじめ、たくさんの地域の方々がトラックを準備して協力してくれたということで、何回か往復しなければいけない計画でしたけれども、1回と、あと軽トラをもう1回ぐらいで終わったということで、大変スムーズにできたということでした。これは、前期課程のほうから新校舎のほうに荷物を運ぶことでした。27日、今度は運んだ荷物を中に収める、そういった作業でございまして、2日目は私も行ってきました。運んだものを整理するに当たって、生徒も参加して本当に義務教育学校の特色が生

佐藤教育長	<p>かされているなというように感じました。後期課程の生徒がみんな来て、一生懸命作業してくれて、本当にスムーズにできてよかったなと思います。29日の退職辞令交付式、教育委員会の関係については、退職年限が延長になりまして、60歳退職ではなくなりましたので、今回の退職者は、湊課長と三浦さんということで、2人だけの辞令交付でございました。31日に3回目の「みんなのフリーコンサート」が行われたわけですが、出演者は10組で、約80人ほど聴きに来ておりました。ホールのある2階が満席になるぐらいで、1回目2回目3回目とだんだん聴きにくる人たちも多くなって、非常にいい形で出来きたなというように感じています。4月はありませんが、恐らく5月の最終週26日に観光文化スポーツ部の方でまたやってくれると思いますが、うまく軌道に乗ってくればいいなと感じた事業でございました。4月1日の辞令交付は一連の流れで毎年やっているわけですが、私が職員に話した訓示については、今回の資料に入れていますので、後で御覧になってください。4月はいろいろ来庁者がございまして、2日は北教育事務所、JA、警察署長、それからその後も中体連の会長、チャレンジマラソンの事務局、昨日は県の生涯学習課長も来まして、色々お話をさせてもらいました。3日、安田保険システム反射バンド贈呈式ということで、中学校1年生に反射バンドを寄贈していただきました。同じ日に市の校長会の総会がありまして、私の話の中では、校長先生方の挨拶について、校長先生方が挨拶する機会はたくさんあるわけですが、入学式でも卒業式でも、校長の顔が変わっても聞けるような挨拶はやめてくださいと、この校長でなければ、この人だからこの言葉が出るというような挨拶をしてほしいということを経験したところですが、いかがだったでしょうか。私もこの職について、途中コロナもありましたが、年間平均160ぐらい挨拶をしているんですけども、前の年の挨拶とダブったりしても嫌だし、原稿を作って挨拶するんですけど、やっぱり自分じゃなければいけないような挨拶をしたいものだなと心がけていますので、校長先生方にもそういう話をしたところでした。校長から転勤するとき、あるいは辞めるとき、自分は何をやったか、自分が校長であれをやったこれをやったということを考えることもあるんですけども、何をやったではなく、どうなったかということを考えられる校長先生になってください、というお話をしたところでした。また、クリーンアップにどれぐらい参加できたかということで、ふるさと教育の取り組みが評価されるのではないかと、地域貢献の話もしました。子供たちが自主的・自発的に行う行事ですので、そこにたくさんの子供たちが出るとことは、正直普段からふるさと教育をやって、心に響くことをやっているんだということを経験したところでした。そしたら、今年は21日の日曜日に全市一斉春のクリーンアップが行われましたが、後で結果を集計してみると、19.9%、約20%の小・中学生がクリーンアップに出ておりました。5人に1人ですから、5軒あればそのうちの1軒の子供たちが出ているというような状況で、これは私就任してから過去最高でした。小学校が24.2%、中学校は、中学の春年中総体もあったわけですが、13.2%と、去年よりも何倍も増えた感じでありまして、学校によっては50%という学校もあって、現学校教育課長が校長であった学校</p>
-------	--

佐藤教育長	<p>ですけれども、50%の子供たちが出ているということは半分出たということで、すごいと思わず感心しています。あるいは中学校では中3で85%の子供が、27人中24人だったか、ほとんどの子供が出ていて、これもまたびっくりしました。春季大会なのに出ているという学校もあって驚きました。今回の傾向として、各学校とも、小学校は6年生が多いんです。それで、中学校は3年生が多いです。ですから、最高学年がそうやって貢献しているということは、この後も続いていくのではないかなと思っていますので、非常に今年度の活動あるいは学習に期待できるというように感じたところです。小学校高学年も多くて小学校5年生は86%、6年生は80%と、本当によかったと思っています。5日は鷹巣中学校の入学式でありました。非常に子供たちののはりはりした表情がよかったのですが、何よりもよかったのは、市長の挨拶の中で、市長の挨拶がいいということは大変おこがましい話でございますけれども、うれしかったなというのは、職場体験の話をしてきて、職場体験の職場のほうから、市長の耳に「中学生がこうやって職場に来てやってくれて大変いいと思う」という話を聞いているという話をしてくれたことと、去年文化会館で鷹中生がボランティアをやった、それから、旧長岐家で障子張りのボランティアをやったことも紹介してくれて、その子供たち、今2年生で式場にいたので、本当にそういう子供たちがいる中で褒めてくれて、市長の挨拶でぐっとまた参加率が上がっていくんじゃないかなと期待して聞いたところでした。6日から全国交通安全運動が始まり、朝の登校状況視察ということで、もう小学校7校になりましたので、小学校だけ清鷹小から順に回ってみました。どこの学校も挨拶がよくて、非常に嬉しかったです。よく私紹介するんですけれども、米内沢小学校の子供たちが面白くて、50メートルぐらい離れたところから挨拶するんです。玄関に向かってカーブを曲がってきたところで挨拶するんですが、その挨拶が、「校長先生おはようございます」なんです。大概ほかの学校は「おはようございます」なんです。ということは、校長が毎朝出ているということでございまして、相手の名前、「校長先生」と呼んでからする挨拶がすごくよかったなと思っています。心配していたのは、前田小が統合したので、前田小は全員スクールバスで通うということだったから、どうしているだろうなと思っていたんですが、前田小学校の子供たちも「校長先生もおはようございます」と挨拶していたので、これはよかった、もう馴染んできたなということを感じました。6日の土曜日は清鷹小学校の入学式に行きましたが、可愛い18人の新生でございました。「カムバック縄文サーモン」は、観光文化スポーツ部に所管替えになったんですが、ちょっと覗いてみたら、子供たちも来ていて、大変よかったなと思っています。8日の阿仁学園入学式、3人の新生でしたけれども、在校生の6年生と9年生が歓迎の挨拶で、6年生の代表の子が新生の名前を言うときに最初の子の名前が飛んでしまいました。2人目3人目と言ってから、1人目の名前を忘れて「はっ」とステージの上でなっているときに、隣で9年生が横を見て名前を教えてくれて、話ができたとするような場面があって、これが義務教育学校だなと思いました。多分他の小学校での6年生だと絶対忘れたり間違えることはないんですよ。それは、自分がやらなければいけないという責務</p>
-------	---

佐藤教育長	<p>を感じてやるからそうなんでしょうが、先輩もいるという安心感というか、そういう中で育てていくと、無理のない発達段階に応じた成長になっていくものと僕は思っていて、義務教育学校の良さがここに出てきたなと思い、非常に嬉しい瞬間でありました。それから、9日は比内支援学校たかのす校の入学式に行ってきました。鷹巣小や綴子小からも中等部に入った子供たちがおりましたので、様子を見てきました。保護者の方々もたくさん来ていて、感動的な入学式でした。大館北秋田の校長会の歓迎会に参加してきましたが、今年は校長先生方の採用・承認が9人で、本市は3人でございました。16日、鷹巣東小の登校状況視察に行きました。実は今年の知的障害学級が8人になっていたもので、少し心配で、朝そのまま知的障害学級を覗いてきました。そしたら、何と立派で、朝鞆を下ろしたら知的障害学級の子供たちが、先輩が後輩に教えながら、今日一日の時間割を黒板に書いているんです。これはもう通常学級よりも立派だなと感じて、担任の間嶋先生がうまく育てているなど見てきました。今年から8人だったので、生活サポートもここに付けていて、鎌田先生が生活サポートについており、鎌田先生も教員の免許があるので、校長先生の話では、すごく助かっているという話をしてくれましたので、良かったなと思って見てきたところです。この後また学校訪問の時にでも見ていただければと思っています。18・19日と、東北都市教育長協議会役員会総会に行ってきました。宮城県の大崎市で行われまして、不登校について発表してくれと回答を求められていたので回答は出したんですが、フリースクールの運営のことで色々質問もあったので、私もリフレッシュ学園のことを紹介しました。どうやって学校とフリースクールは連携しているのか、いわゆる民間のフリースクールに行ったときの評価はどうしているんだという話になったんですが、評価が大事なのではなくて、やはりその子が学校に行けるようにするために、市のリフレッシュ学園では、学校との連携、連絡を取り合っていることが僕は大事だと思うというお話をし、北秋田市でやっていることを紹介してきたところです。去年もリーフレットを持って行って紹介したりしていますので、大分皆さんも分かってきてくれていると思っています。去年は宮城県から生徒が1人来て、岩手県からも1人来たということ、東北の皆さんに紹介してきました。大崎市は昔の古川市で、鳴子まで80キロですね、そして800平方キロメートルと結構広くて、合併によって大きくなった市なんですけれども、イノシシが多くて去年は1,000頭捕獲し、イノシシによる食害が問題だということで、今年、廃校を活用したジビエの食肉加工場を作ったということで施設を見せてもらいましたけれども、本市でも熊肉の食肉加工場を作るとか、そういった廃校の活用ができないものかなと思い、情報をすぐ産業部の部長に提供しました。そういった他県のことを参考にしながら、本市でも取り組んでいかなければならないと見てきたところです。去年開校した義務教育学校も視察してきました、「古川西小中学校」という義務教育学校なんですが「小中学校」という名称で学校名をつけていました。中学校の校舎に隣接して小学校の教室棟を建てて、小学校だけの体育館を建てて、学級が学年2クラスあるところもあり、阿仁学園のような小規模な学校ではないので、建物を増やしてという取り組みをしていたようです。</p>
-------	---

佐藤教育長	<p>20日に退職校長会定期総会があり、挨拶の中でリフレッシュ学園の去年の体験活動164種類を皆さんに見てもらい、退職した先生方もボランティアで参加してもいいですよという話をさせてもらいました。リフレッシュ学園のことを分かってもらえるチャンスだと思って話したところです。月曜日、市の教育センターの所員総会を今年初めてオンラインで行いました。これまでは、午前中で授業を終えて、給食をばたばたと食べさせて先生方が14時頃までに鷹中の体育館に集まってやっていたのですが、それはどうなのかということで、センターの所長の挨拶も、私の挨拶も事前に録画して、それをオンラインで流しました。話し合いについては、お互いに画面を見ながら、各学校の会議室などに先生方が集まり、会議形式で行ったということで、おおむね好評であったということでありました。先ほども少し話ししましたが、昨日県の生涯学習課長が来庁しました。文部科学省から出向になった、33歳の女性の古屋さんというキャリアの方でございまして、本市でも教育留学や色々な事業を県の生涯学習課と連携してやっていますので、そういったお願いや、この後の見通しなどについても、少し相談させてもらったところです。</p> <p>以上長くなりましたが、私の報告でした。</p> <p>何か質問等ございませんか。</p>
佐藤正俊委員	<p>教育長さんのお話の中にもありましたが、私も、入学式の感動の感想をお話しさせていただきます。私の担当は森吉中学校でしたけども、いつもだと入学式って卒業式よりはさらっと終わってしまうなと思っていたんです。で、終わるだろうなと思っていたら、入学する1年生の誓いの言葉でした。前田小学校の庄司君という児童でした。原稿を見ないでしっかりと全校の前を見て、発表している姿はあまりにも立派で、早速、米内沢小学校の校長先生にお電話で、「とても立派でした、感動した」ということをお話しさせていただきました。とてもよかったです。もう一つは、教育長さんと一緒に、阿仁学園の入学式に出席させていただきました。前の前の日の案内でした。実は私の担当でなかったのですが、行く気はなかったのですが、わざわざ教頭さんから電話をいただいて、地元として出席してほしいということで出席させていただきました。どういう入学式かなと楽しみにしながら、たった3人の子供の入学式でしたが、とても温かかったです。それは校長先生の挨拶かな。小さな子供たちを前にして、壇上から降りてきて、そして子供の目線で話をしているというのは、素晴らしいことだなと。これは先ほど教育長さんが話していることにも関わってくると思いますが、やはりそういうところが私は実に大切だなと思いつつ、すばらしいなと感動しましたので、つけ加えさせていただきました。以上です。</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございます。ほかにございませんか。</p>
藤本委員	<p>クリーンアップについてですけれども、子供たちの中でも、4月のこの時期にクリーンアップがあるということが浸透しているなとすごく感じています。息子</p>

藤本委員	<p>がクリーンアップの1週間ぐらい前に、友達から「総体と重なっているけどどうする？」って聞かれたそうで、息子は神社の境内担当で近いので、毎年行くっていうふうには思っているのですが、「僕は行くよ」って言ったけど友達は「ちょっと試合負けたら行こうかな」って。そういうふうに友達と相談したっていう話をしていたので、子供たちの中にクリーンアップがこの時期にあるっていうことが浸透しているなと感じました。</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございます。市長もこの前の部長会議でクリーンアップのことを取り上げて話してくれて、ずっと老人クラブの会のようになっていたが今年は小学生2人参加して、子供たちの声が響けばいいなというお話をされておりました。ほかによろしいでしょうか。</p> <p>なければ、次に、(2)各課所管事項の報告について、はじめに教育総務課からお願いします。</p>
佐藤教育総務課長	<p><4月行事報告及び5月行事予定について報告> 資料のとおり <教育総務課報告概要> 2. あきたリフレッシュ学園 (1) 利用状況 学園生 16名(中学生12名、小学生4名) 前月比 7名減 体験入園1名 (2) 活動内容 資料のとおり</p>
佐藤教育長	<p>ただいまの報告について、質問や意見などはございませんか。</p>
藤本委員	<p>中学生の女子の方が増えてきている中で、今回女性の先生がりフレッシュ学園に来てくださってよかったと思いますけれども、そういったところを実感されていることはありますか。</p>
佐藤教育総務課長	<p>鷹中から佐藤さくら先生に来ていただきまして、雰囲気も変わったなと思っておりますが、子供たちが学校に向いて、一生懸命学校に通学をしている関係もあり、なかなかリフレッシュ学園に来ていないので、まだ活動はそんなにはできていないのかなと思っておりますが、来た子供たちには一生懸命接したいということで、触れ合ってくれていると思っております。</p>
佐藤正俊委員	<p>先日、阿仁学園後期課程の校舎を懐かしくて見に行きました。どうなっているのかなと、私13年いたので、どういうふうに片づいて、どうなっているのかなと見に行ったら、感動したのは、校舎の玄関に子供たちの『ありがとう』と書かれていたのが、とても嬉しかったです。大事にしたんだなということ、思い出深い校舎なんだなということを感じながら、中を覗きながら見てきました。綺麗に</p>

佐藤正俊委員	整理整頓されているなという気がしました。あと一つは、阿仁学園後期課程の看板がまだ105号線にあって、もし間違っていると困るので、後期課程の看板は取り除かないといけないのではと感じました。
藤田学校教育係長	看板については現在解体業者に見積りを依頼しております。
佐藤教育長	それでは、間もなく撤去できるということですね。 本当にリフレッシュ学園は開店休業という感じで、指導員の先生方があまり準備をしすぎると子供たちの活動がなくなってしまうし、微妙なところですね。
佐藤正俊委員	つけ加えますと、子供がいないおかげで、指導員の先生方がみんな疲れてきています。何に疲れているかということ、畑を耕したり、木を切ったり、子供たちを迎えるために力仕事ばかりやっています。でも、常に学校と連絡を取っていただいて、子供たちが学校に行っているというので、これが本当は当たり前のことなのだなどと喜んでいます。
佐藤教育長	去年イノシシにやられて、金網とかやっているのではないですか。
佐藤正俊委員	有刺鉄線を張っています。あと教育委員会の三國さんから以前用意してもらったボンと音が鳴るガスをそろそろ設置しようかなと思っています。
佐藤教育長	他にございませんか。 なければ次に学校教育課からお願いします。学校教育課の報告の中で、職員及び児童・生徒に関する内容については、プライバシーに配慮し、内容を非公開としてもよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意をいただきましたので、職員及び児童・生徒に関する内容については、非公開とします。では学校教育課長、報告をお願いします。
茂内学校教育課長	<4月行事報告及び5月行事予定について報告> 資料のとおり <学校教育課報告概要> 1. 児童・生徒数 4月1日現在 1,434名(小学生881名、中学生553名) 前月比 小学生72名減、中学生7名減 2. 職員の異動等 資料のとおり 3. 不審者等の情報 なし 4. クマやサルを目撃情報への対応 資料のとおり

茂内学校教育課長	5. 義務教育学校阿仁学園入学式 資料のとおり
	<非公開資料説明>
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見などございませんか。
藤本委員	二つあります。4月の初めにテレビのニュースで、合川地区にイノシシの群れ10頭ぐらい目撃され、田んぼでイノシシが駆け回っている映像を見ました。合川地区としか出ていなかったの、詳しい地域は分からなかったのですが、子供たちの通学路に近い場所などではなかったか心配でした。
茂内学校教育課長	イノシシの情報は特に入っておりませんでした、農林課とも連携して情報収集に当たりたいと思います。
佐藤教育長	(映像は) テレビのニュースですか。
藤本委員	見たのはテレビですけど、ユーチューブとかでも見れます。
佐藤教育長	その情報は知らなかったです。ありがとうございます。
藤本委員	もう一つは、今回、息子の通う森吉中学校で4月にPTA総会があって、これまでと違った予算が承認されたんですけども、不登校気味の生徒が修学旅行に行きたいとなったとき、もしかしたら、旅行に行った途中でやはり皆と行動ができない、ホテルにいたいとか別行動になったときに、付添いの先生の人数が足りなくなってしまう可能性があるの、そういった場合の先生の旅費のための費用をPTAの予算の中に今回盛り込まれたんです。そのことで、不登校気味の生徒さんが修学旅行に安心して行くきっかけになるんだなと思ったので承認したんですけども、そういったことは他の小中学校でも広がっているのでしょうか。今回、森吉中学校で初めて聞いたんですけど、そういったことは他の学校でもそういった考えというか、対応をされているのでしょうか。
茂内学校教育課長	まだ他校からはそういった情報は寄せられておりません。私も初めて伺いましたので、もう少し聞いてみないと分かりませんので、聞いてみたいと思います。
佐藤教育長	鷹巣中学校にステップルームというのがあって、あれがいわゆる教育支援センター的な役割をしています。国の方で不登校の改善を図るために各学校に設けてくださいというような動きをしているわけなんです、なかなか人が増えなかったんです。今、鷹巣中学校には生徒指導加配という加配が入っているの、その生徒指導加配が担当しながら、鷹中ではできています。森中もずっとその生徒指導加配を要望してきていたのですが、生徒指導加配つかなくて、今回「児童生徒

佐藤教育長	<p>の学びを支える支援スタッフ」という形で、教育支援センターという、いわゆる不登校の子供たちを対象にした教室を作ることができる加配をもらったところ です。これは今回新しく入ってきた加配であります。ここがうまく機能して、学級に行ったり、また疲れたときにはリフレッシュ学園に行ったりしながら、学校全体でカバーしてやってくれればよいなと思っています。合川中はそういった対象の生徒が今のところいないので大丈夫だと思っています。阿仁中は人数が少ないこともあり、不登校生徒はいるんですけども、今は東京のフリースクールに行ったりしています。ですから、学校のほうとしてはまず今の状態で、あとはリフレッシュ学園と連携していければと思っています。</p>
藤本委員	<p>例えばそのスタッフの方が修学旅行に行ってくださいる場合も PTA で出すということですか。国からその先生の分の旅費は出るということですか。</p>
佐藤教育長	<p>修学旅行引率のお金は、学校に配当されている配当旅費の中でやるので、誰を引率させるかは各学校の校長の判断で決めることになります。</p>
藤本委員	<p>先生が多くいかなければならず、その分旅費が足りなくなるため PTA の会費から出すという説明だったので。</p>
佐藤教育長	<p>それは今初めて聞きました。それは PTA の説明の中で、ということですか。</p>
藤本委員	<p>そうです。ただ、今回の総会で急にはではなく、2月の常任委員会の際に、校長先生からそういうふうを考えているということで、段階的にお話がありました。校長先生も経験の中で困ったことが以前あったようで、修学旅行に行けたけれども、みんなと一緒に行動できなくなり、ほかに対応する先生の人出が足りなくなってしまうという説明でした。</p>
佐藤教育長	<p>校長や教頭が修学旅行に必ずついていかなければならないということもなく、その辺は学校の中でやりくりはできると思います。その辺のところは具体的にどうなっているか把握していませんので、あとで確認してみます。 ほかにございますか。</p>
佐藤正俊委員	<p>やっぱり4月の段階でしっかり子供たちを見ていかないといけないし、特に低学年の子、1・2年生はやっぱり学校って楽しいなと思える学校づくりをしていかない、家のほうが楽しくなってしまう。そうならないように、学校でしっかりそういう場をつくっていくというのが大事じゃないかなと思います。もう一つは中学校です。3年生っていうのはもう時間がないんですね。それをしっかり見て早め早めに対応していかないといけないのではないかなと思います。確か私は昨年度もお話ししましたので、どうか学校に対して、課長さんのほうからしっかり御指導頂きたいなと思います。特に、先ほど教育長さんが話した(リフレッ</p>

佐藤正俊委員	<p>シュ) 学園というものがあります。どうかそこをしっかりと利用できるように、学校でもそこを工夫しながら、先生方が引っ張っていくぐらいの気持ちで、子供たちを見てほしいと思います。</p>
蒔苗委員	<p>小学校の入学式のことについてですが、私、鷹巣小学校の入学式に出席させていただきました。大体式が45分ぐらいかかったんですけども、30分過ぎるともう飽きらかして動いてしまう子もいて、規模が大きいからそういうふうになるのでしょうか。式の次第はどの学校でも同じような感じだと思いますけれども、人数だけが変わる要素になっているのか、挨拶は省けるものがあれば省けるようにしたらいいのかっていうことをお伺いしたいです。</p>
茂内学校教育課長	<p>各校の入学式の内容に関しましては、どの学校もほぼ同じような内容になっていますが、ただ、鷹巣小学校はやはり人数が多いので、入場にも時間がかかりますし、点呼も一人一人やっているかと思うのですが、それにもやはり時間がかかって、他校に比べれば少し長いのかもかもしれません。</p>
佐藤教育長	<p>鷹小と鷹中だけ、市長が参加して、市長の挨拶がありました。ほかの学校は来賓の挨拶はPTA会長だけです。</p>
藤本委員	<p>米内沢小学校の入学式はPTA会長の挨拶もありませんでした。来賓の方が、卒業式も大体同じメンバーなので、早く終わったと皆さんすごくびっくりしていました。</p>
佐藤教育長	<p>そうすると校長挨拶だけですか、すごいシンプルですね。校長先生方に話をするときには、校長の立場と来賓の立場、大体話すことは似ているんだけど、PTAだけは、例えば卒業式であれば、教員に感謝の気持ちを述べるというのは、PTAの立場しかないの、PTAは挨拶があつていいのかなと僕は思って話していました。PTA(の挨拶)がなくなっているとは、すごくシンプルです。いずれは学校行事などで、こちら(教育委員会)でこうしなさいということではなく、校長の判断で、式のことを決めることができることから、そこは任せたい方がいいと思います。</p>
佐藤正俊委員	<p>蒔苗先生がお話したとおり、私も心配なときもありました。「先生のお話を聞くときはちゃんとこういう態度でね」という指導が入学する前に、保育園あるいは幼稚園でしっかりやられているかどうかということだと思います。もう全然話も最初から聞かないし、動いて歩くし、お母さん、お父さんのところまで走っていくし、そういう場面はよくあると思います。それはやっぱり、入学式を前にしての指導が足りないのかなという気がします。心配な時は今まで何回もありましたが、大きい学校とか小さい学校とかは関係ないと思います。</p>

茂内学校教育課長	<p>幼稚園、保育園と小学校の連携に関しましては、今も幼稚園、保育園の段階で、情報共有してやっておりますが、先ほどもお話した、4月30日に予定している連携会議は、今回新たに立ち上げたものでして、そこでお互いの教育理念や手法を共有して、うまく接続していけるようにやっていきたいと思いますというので、円滑に進むようにしっかりやっていきたいと思っています。</p>
佐藤教育長	<p>今年予算にも入れていたんですけども、「架け橋プログラム」というプログラムを立ち上げました。県の認可が取れればそこから始まると思いますけども、教育委員会にコーディネーターを1人配置して、幼保小をスムーズに持っていこうということを計画しています。私たちが今考えているのは、小学校に入った段階で、例えば45分椅子に座ってられる子供を保育園・幼稚園でつくるのではなくて、小学校に入ったときに最初は30分しか持たなくてもいいんじゃないかと考えます。あと残り15分は、例えば授業中であれば、動かしたりいろんな工夫しながらやっていけるということです。小学校の先生も幼稚園や保育園に行くと、一緒に幼稚園・保育園の学びの場に入って、幼稚園・保育園の先生から学べばいいし、幼稚園・保育園の先生も小学校1年生に入って、自分たちが育てた子供たちの状況を見ながら、子供たちの発達段階に即した指導方法を作っていきたいと考えています。要するに、例えば5歳児や6歳児の4月は5分椅子に座っていられば、まずみんなで座る、それが2か月ぐらいしたら、それを10分ぐらいに、そして10か月したら、20分ぐらいと、そういう到達目標を立てて、どこまでできているかということです。子供一人ひとり違うし、4月生まれと3月生まれでは全く違うので、その辺も個々の子供に合わせた目標を立てて指導していけるようなプログラムを少し考えてみませんか、やってみませんかということを、今年取り組んでいく予定でおります。それができていくと、蒔苗先生がおっしゃったように、30分は持つから30分ぐらいで式をやろうとか、そういったようなことをもう少し具体的に取り組むことができるのではないかなと思っていますので、学校訪問の時にもそういった仕組みを校長先生方からもお話ししてもらったり、こちらからも提案できたりすればいいなと思っています。さっき少しお話した僕の課題意識は、教育長就任のときからあったのですが、この幼保小の連携をスムーズにできればいいなと思っていてもなかなか取り組めなかったのですが、やっと今年取り組むことができよかったですと思っています。課題意識を持ったのは、上小阿仁小中学校の校長の時です。上小阿仁は一階が全部小学生で、小学校6年生の時はずごく立派なのに、二階に上がって中学生になるとはじける。なぜこうなんだろうと考えていました。6年生の時はずごく頑張るし、はっぱをかけて頑張れ頑張れと言えば、子供たちははずごく頑張るんです。ところがそれが本当の姿なのかと考えたときに、本来の成長過程よりも頑張らせてしまったから、中学校に入って結局下がるんじゃないかと思いました。そういったことから阿仁学園がうまくいっていると思うのは、あまり無理をさせないで、子供たちの成長段階に沿って今6年生が7年生になろうとしているんじゃないかというところがいいと思っています。これは上小阿仁の保育園に行くと</p>

佐藤教育長	きもすごく感じて、保育園の卒園式は立派だなと思って見てきたんだけど、小学校に入ると、小学校の先生方の要求が高過ぎて、座ってられないし何もできていないという話をします。そもそもそこが、連携のうまくいってない課題だと思っていたので、今回のプログラムは非常に期待しているところです。
佐藤英樹委員	今お話があった幼保小連携会議について、子供園に関わっている私としては北秋田市教育委員会が、保育、幼稚園のことを考えてこういうプログラムを立ち上げてくれたってことで大変喜んでおります。今、蒔苗先生や佐藤正俊委員からお話が出たように、幼稚園でも子供が少なくなり、それから園の経営のために特別支援を要する子供たちもどんどん受け入れるようになってきているのが現状なんです。だからその辺を、小学校に行くという子たちが、もしかすると全校全体指導でなかなか指導についていけないこともあると思いますけれども、先ほど教育長からお話があったように、時間をかけて、段階的に指導していくという教育がこれから主流になっていくのではないかと思います。私も高校教員として、全体が集まると、礼をさせるときは「気をつけ、礼」と言って一斉指導してきましたけれども、教育も変わってきていることもありまして、そういうことにこれから力を入れてくれることを大変期待しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。
佐藤教育長	他にございませんか。 なければ、次に生涯学習課からお願いします。
山本生涯学習課長	<4月行事報告及び5月行事予定について報告> 資料のとおり
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見などはございませんか。 なければ、次に次第5番「案件」に移ります。(1)承認第2号 市議会提出議案に関する意見聴取について(専決処分承認を求めることについて(専決第4号 令和5年度北秋田市一般会計補正予算(第13号)のうちの関係部分)について、款項目順に説明をお願いします。
佐藤学校総務課長 茂内学校教育課長 山本生涯学習課長	<承認第2号 教育総務課、学校教育課、生涯学習課の順に説明>
佐藤教育長	ただいまの報告について質問意見などございませんか。
委員	ありません。
佐藤教育長	なければ承認としてよろしいでしょうか。

委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの承認を得ましたので承認とします。 次に、(2) 議案第 21 号 第 3 期北秋田市子ども読書活動推進計画の策定について、生涯学習課長より説明をお願いします。
山本生涯学習課長	<議案第 21 号を説明>
佐藤教育長	北秋田市子供読書活動推進計画について、これは昨年度 1 年間かけて、委員会を立ち上げて議論の上でできたものでございます。御意見がございましたら、よろしくをお願いします。 なければ、原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	過半数の同意を得られましたので、原案のとおり「議決」とします。 次に、(3) 報告第 3 号 専決処理の報告について(専決第 5 号 学校医等の委嘱について) 説明をお願いします。学校教育課長。
茂内学校教育課長	<報告第 3 号を説明>
佐藤教育長	ただいまの説明について、質問や意見などはございませんか。 なければ、この案件は報告ですので、以上とさせていただきます。 次に、(4) 報告第 4 号 専決処理の報告について(専決第 6 号 学校事務共同実施グループリーダー等の任命について) 説明をお願いします。学校教育課長。
茂内学校教育課長	<報告第 4 号を説明>
佐藤教育長	ただいまの説明について、質問や意見などはございませんか。 なければ、この案件は報告ですので、以上とさせていただきます。 続いて 次第 6 番「その他」に移ります。(1) 令和 6 年度北秋田市教育委員会機構図について 教育総務課長より説明をお願いします。
佐藤教育総務課長	<機構図を説明>
佐藤教育長	ただいまの説明について、質問はございませんか。 なければ、(2) 次回の教育委員会定例会について、事務局からお願いします。
事務局 藤本	5 月でございますが、第 1 回総合教育会議は、5 月 30 日(木) 午後 1 時 30 分から北秋田市民ふれあいプラザ 2 階大研修室を予定しております。終了後、引き

事務局 藤本	<p>続き教育委員会5月定例会を行います。なお、同日、昨年と同様、午後6時ごろから懇親会を予定しております。場所等については未定です。決まり次第ご連絡させていただきますので、よろしくお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>(3) その他、何かございますか。</p>
事務局 藤本	<p>事務局より重ねて連絡いたします。教育長動静でも触れておりますが、今回の資料に教育長の訓示を添付しておりますので、精読していただきますようよろしくお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>その他特にないようであれば、以上をもちまして教育委員会4月定例会を閉会いたします。</p>

(午後3時10分閉会)